

『時事直言』 No.1796 2026年4月3日国会議員号

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[X(旧 twitter)] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019) [Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

イラン戦争トランプの本音(敗北宣言)と建て前(勝利宣言)

トランプは3月31日、「(イラン戦争の)目標は達成した、(停戦)合意は結ぶ必要ない、2、3週以内にアメリカ軍は撤退する」と述べ、「アメリカの唯一の目標であったイランの核不所持は達成された」、「もうイランは核兵器を製造出来ないことが分かった以上合意を結ぶ必要はない、米軍は合意なしでも撤退する」。ホルムズ海峡の安全確保については、(アメリカは中東原油に依存していないので)「我々には関係ない」、(安全航行は)「原油を輸入している国の責任で行うべきだ」、米軍撤退と終戦は近いと示唆した。アメリカの国内事情(連日の No king、No Trump の反戦デモ、支持率最悪の 33%など)からトランプはこれ以上イラン戦を続けられない、さらに 9,000 回も空爆した為、弾薬不足が深刻になって来たのもうこれ以上戦争を続けられない。

撤退、敗退、これが本音。

トランプのイラン戦争はイスラエルの為でありアメリカの為ではないことはアメリカの 16 の安全保障情報機関によって証明されている。

トランプのイラン戦争は大義無き戦争であったことは明らかである。

しかしトランプは非を認めて謝ることは死んでも出来ない性格である。

従って4月1日のイラン戦争についての国民向け演説では、アメリカはイランに大勝した、イラン戦争をしなかったらアメリカが危機に陥っていただろう、さらにイランは核を持つことになっただろう、(アメリカに関係なしと言っていた)ホルムズ海峡を解放するまで今後 2、3 週間イラン攻撃を強化すると言った。

勝利宣言が建前である。

ではトランプはこれから何をするのか。

アメリカに代わってイスラエルがイラン攻撃を激化し、その際にトランプは米軍撤退の準備をする。

トランプが、ホルムズ海峡の安全航行は海峡利用国の責任だと言うのだから、日本は既にイランが用意している安全航行許可を得れば良いのである。

他国も日本に従うから事実上ホルムズ海峡の安全航行は、トランプに関わりなく確保される。

日本のホルムズ海峡安全航行交渉再開のニュースが出るとニッケイ平均は 6 万円に向かう。

私の小冊子 Vol. 157 お申込みは、<https://www.musrjec.com/>

先行受付開始！増田俊男の小冊子 Vol.157

『Basic structure of ongoing wars』現在進行中の戦争の基本構造(米シンクタンクへ提出した論文)

現在増田俊男の小冊子 Vol. 157 は先行受付中です。

内容は、*戦後の軍事覇権構造の変化 *戦後の経済覇権構造の変化 *衰退するグローバル化と国際協調 *格差拡大と民主主義衰退を止められなかったオバマ・バイデン *非民主、非人道、利己主義の時代が産んだトランプ *軍拡時代再来などです。価格は、1冊 5,800 円(送料別)。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313、HP : <http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。